

はじめに

館長 岩井秀昭

大阪信愛女学院図書館の活動方針および2010年度の活動報告書が出来上がりました。本書をもってここにご報告いたします。

2010年は『国民読書年』という年でした。様々なところで読書を推進する行事が行われるなど、読書に対する意識が再び高まりを見せました。本学院図書館をはじめとする大阪の高等学校による『高等学校図書館フェスタ in 大阪』が開催され、多くの中学生、保護者、教員や図書館関係者が参加しました。

本学院図書館では幼稚園から短期大学までの「総合学院図書館」として、児童・生徒・学生が自ら学ぼうとする、いきいきとした学院をつくるためにさまざまな教育活動を支援しています。児童・生徒・学生の学習活動や教職員の研究活動に役立つ資料提供、また一人ひとりの楽しみや好奇心を満たすための資料提供によって、図書館は利用者である児童・生徒・学生や教職員の「見たい」、「読みたい」、「知りたい」という要求に応えるよう努めています。

また、卒業生や保護者の方々、さらには広く一般の方に利用して頂いています。本年度は特に保護者の方々の利用が多くありました。

生涯学習の点においても、図書館の役割には大きいものがあります。情報収集の場として、図書館のさらなる利用を期待しているところです。また、図書館が学院の中の賑わいの空間となるよう願ってやみません。

皆様の忌憚のないご意見・ご感想などをいただき、今後も更なる蔵書の充実、利用の拡大そしてより良い運営を目指してまいります。

I. 大阪信愛女学院図書館活動方針

1. 基本方針

図書館では、学生・生徒・児童が建学の精神にもとづき、女性としての豊かな心を養うと共に、物事を正しく判断して行動し、進んで社会に奉仕できる明朗で健康な人となるように、図書館の機能を通して支援する。

情操面ではもちろんのこと、生涯学習社会、情報化社会に生きる者として、柔軟に対応できるよう、情報の持つ意味、情報の取捨選択、その利用や表現といった情報活用面についても、日常の図書館利用を通して習得することを支援する。

これらの実現のために、次のような活動を推進する。

- ① 様々な興味・関心、また多様な価値観を持つ学生・生徒・児童たちに、自由で楽しい読書の場を保障し、必要に応じた情報の提供を徹底して行う。
- ② 学生・生徒・児童の学習や自主的な活動、教職員の教育活動に対して、積極的に支援する。
- ③ 一層充実した情報提供ができるよう、必要な資料の収集に努める。
- ④ これらのことを円滑に行うため、図書館員は常に研鑽に努める。

2. 方針の具体化

- ① だれもが利用しやすい図書館づくり
 - ・「図書館に行ってみよう」と思われる努力と工夫をする。
 - ・初めての人でも気軽に入りやすい雰囲気づくりをする。
 - ・日常的に図書館を利用してもらえよう努力する。
 - ・館内表示を誰が見ても分かりやすいように工夫する。
 - ・障害を持っている人も利用しやすい図書館にする。
 - ・図書館に対し良い印象を持ってもらえるように、特にカウンターでの対応に注意する。
 - ・広く利用者の要望を図書館運営に反映させるよう努める。
- ② 資料提供を徹底的に行う
 - ・利用者が図書館員に気軽に質問できる環境を整える。
 - ・利用者の疑問について答える。
 - ・利用者が求める資料や情報を迅速・的確に提供する。
 - ・図書館員は利用者の様々な疑問に速やかに対応できるよう研鑽に努める。
- ③ リクエスト制度を理解してもらう
 - ・図書館にない本は、買ってもらえることを周知徹底する。
 - ・購入が困難なものは、他館から借りられることを周知徹底する。
 - ・掲示などを通して広く利用者に知らせる。
- ④ 新鮮で魅力的な資料の充実を心がける
 - ・学生・生徒・児童が関心のある資料を積極的に購入する。
 - ・授業で利用が見込まれる資料を積極的に購入する。
 - ・図書館の収集方針に従い、適正な資料の充実を心がける。
- ⑤ 授業との連携を積極的に行う
 - ・教師に図書館の働きを理解してもらえよう努力する。

- ・ 教師に図書館を使った実践例の紹介をする。
- ・ 宿題等の課題は事前に把握するよう努め、速やかに資料を提供できるようにする。
- ・ 資料の利用方法や情報検索等の指導を通して、情報活用能力の育成に努める。

⑥ 図書館を知ってもらうために広報活動を行う

- ・ 図書館活動について、学院関係者に周知徹底する。
- ・ ホームページを利用し最新の情報を提供する。
- ・ 図書館報、新着案内や展示・掲示を積極的に展開する。

3. 2011 年度の活動重点項目

○ 図書館利用の活性化を行う

- ・ 学生・生徒・児童・教職員に対し学習・研究活動への支援に努める。
- ・ 新着図書案内・特別展示などで図書館資料の紹介をする。
- ・ 利用者が参加できる図書館活動を行う。

○ 募集広報に協力する

- ・ オープンキャンパス、入試説明会などで見学者に図書館を紹介する。

4. 資料収集方針（2000年2月23日策定）

<趣旨>

大阪信愛女学院図書館（以下「図書館」という）は、資料提供を通して、児童・生徒及び学生が学ぶ喜びや読む楽しさを体験できるよう援助するとともに、教職員の教育・研究活動を支援するという役割を持っている。その役割を果たしうる図書館であるために、常に利用者（児童、生徒、学生、教職員等）の声に耳を傾け、魅力ある図書館資料（以下「資料」という）の収集に心掛け、以下のような方針で資料を収集する。

<資料の範囲及び種類>

1. 授業の補助になるもの

（授業や課題、学校行事、クラブ活動などで必要なもの。また、利用が見込まれるもの。）

2. 調査研究に必要なもの

（利用者の調査・研究及び教育活動に必要なもの。また、利用が見込まれるもの。）

3. 教養を高めるもの

（人格の形成及び向上に必要な、一般教養及び時事問題を扱っているもの。広い視野と多様な考えに目を開かせるもの。）

4. 利用者が必要とするもの

（利用者の知的好奇心を刺激するもの。利用者の要求が予想されるもの。利用者のリクエストにはできる限り応じる。）

冊子体の資料の他に、デジタル資料、オーディオビジュアル資料なども適宜必要に応じて収集する。

Ⅱ. 運営

1. 職員

- ・ 図書館長 岩井秀昭
- ・ 副館長 谷嶋正彦
- ・ 課長 濱岡賢二
- ・ 司書 河野香織、金森陽子、守屋美玲
- ・ 嘱託職員 川島眞治

2. 各校図書連絡係

- | | 各校教員 | 図書館担当職員 |
|--------|--------------------------|---------|
| ・ 短期大学 | 藤本久夫、鈴木万里子、市川隆司、西節子、籾内順子 | 濱岡賢二 |
| ・ 高等部 | 高橋絵吏 | 谷嶋正彦 |
| ・ 中等部 | 江草佳子、藤井政也 | 河野香織 |
| ・ 小学校 | 荒井祐子 | 金森陽子 |
| ・ 幼稚園 | 山本悠湖、岸万莉子 | 守屋美玲 |

3. 管理運営

- ・ 図書館の管理・運営総括 岩井秀昭
- ・ 図書館業務総括 谷嶋正彦
- ・ 図書発注・受入・支払 谷嶋正彦、河野香織
- ・ 図書の分類・目録 守屋美玲
- ・ 図書の装備 川島眞治、守屋美玲
- ・ 雑誌受入 濱岡賢二
- ・ 予約・督促 金森陽子
- ・ 図書館間相互貸借 濱岡賢二

4. 図書館外業務

- ・ 図書館防災管理責任者 岩井秀昭
- ・ 危機管理委員会 谷嶋正彦
- ・ 情報センター委員会 守屋美玲
- ・ 学院新聞委員会 金森陽子
- ・ 鶴見学舎カウンター 濱岡賢二

5. 図書館カレンダー

4月

- ・ 大阪信愛女学院図書館ニュース No. 9 発行 (2日)
- ・ 短大新生オリエンテーション実施 (2日)
- ・ 中等部・高等部の保護者に学院図書館の利用案内を配布 (7日)
- ・ 幼稚園の保護者に学院図書館の利用案内を配布 (7・10・12日)
- ・ 高等部新生オリエンテーション実施 (9日)
- ・ 中等部新生オリエンテーション実施 (9・12日)
- ・ 各校に平成22年度図書予算を通知 (13日)

- ・小学校オリエンテーション実施（15-16・21-23・27日）
- ・鶴見学舎カウンターに午後常駐する（19日）
- ・第22回古雑誌・古本展示会（26-5/8日）
- ・「高等学校図書館フェスタ in 大阪」について中・高主に説明（26日）
- ・「高等学校図書館フェスタ in 大阪」について理事長に説明（27日）

5月

- ・小学校オリエンテーション実施（12・20・25-27日）
- ・鶴見学舎で雑誌貸出開始（13日）
- ・平成21年度図書館活動報告書+活動方針を各校部署主に配布（19日）
- ・館外蔵書点検（26-27日）

6月

- ・「高等学校図書館フェスタ in 大阪」について募集広報委員会にて説明（3日）
- ・中学生の北海道修学旅行関係の資料を図書館4階研究室41の前に別置（7日）
- ・看護学科学生に文献探索指導（11・25日）
- ・小学校入試説明会参加者図書館見学（19日）
- ・館内蔵書点検（28-7/18日）

7月

- ・鶴見学舎の資料は閲覧のみ（2日）
- ・各校に図書予算残高を通知（5日）
- ・初等教育学科の学生の工作作品を館内に展示（9日）
- ・館外蔵書点検（13-15日）
- ・中等部・高等部オープンキャンパス参加者図書館見学（25日）
- ・「高等学校図書館フェスタ in 大阪」開催（29-31日）

8月

- ・館内蔵書点検（2-20日）
- ・中等部・高等部オープンキャンパス参加者図書館見学（22日）

9月

- ・館外蔵書点検（1-30日）
- ・小学校入試説明会参加者図書館見学（4日）
- ・高校美術部の作品(写真)を館内に展示（10日）
- ・図書館2階閲覧室の新作図書展示用書架が落下しないように固定（10日）
- ・平成22年度除籍リスト提出（26日）
- ・小学生（4年）コンピュータ検索の使い方のオリエンテーション（29日）

10月

- ・各校に予算残高と図書購入申請受付期限を通知（4日）
- ・小学生（4年）コンピュータ検索の使い方のオリエンテーション（6・13-14日）
- ・高校美術部の版画を図書館4階ブラウジングコーナーに展示（20日）
- ・中等部・高等部保護者対象入試説明会参加者図書館見学（23日）
- ・中等部プレテスト参加者図書館見学（24日）

11月

- ・中等部・高等部ミニオープンキャンパス参加者図書館見学（13日）
- ・中等部保護者対象入試説明会参加者図書館見学（20日）
- ・中等部プレテスト参加者図書館見学（21日）

- ・高等部保護者対象入試説明会参加者図書館見学（27日）

12月

- ・中・高校生に図書館利用調査アンケート実施（3日）
- ・中等部・高等部個別相談会参加者図書館見学（4・12・18日）
- ・看護学科学生に文献探索指導（14-15・22日）
- ・看護学科学生に図書館利用調査アンケート実施（14-15・22日）

1月

- ・短大生に図書館利用調査アンケート実施（12-13日）
- ・幼稚園の親子教室で図書館利用（18-20日）
- ・各校に学術雑誌購読についての調査実施（21・28日）
- ・平成23年度予算申請書提出（24日）

2月

- ・「図書館員が薦めるこの一冊」を「ブグログ」に掲載（7日）
- ・先生のお薦め本にしおりをつける（7日）
- ・附属高校・短大に進学する中3・高3対象に貸出開始（18日）
- ・「テーマ展示」を「カーリル」に掲載（21日）

3月

- ・月～金曜日 17:00 まで開館時間を変更（1-19日）
- ・平成22年度除籍リスト提出（11日）
- ・図書館中央階段の1階から2階に手すりがつく（14日）
- ・図書館1階の絵画を短大・飯田先生作の絵画3点に掛け替える（18日）
- ・平成22年度図書館資料決算報告提出（28日）

6. 出張、研修

5月

- ・私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会 2010年度総会・第1回研修会（14日 藍野大学ー濱岡）

6月

- ・私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会 第3回幹事会（29日 大阪芸術大学短期大学部 大阪学舎ー濱岡）

8月

- ・学校図書館問題研究会 第26回 全国大会（2-4日 東京ー谷嶋）
- ・日本看護図書館協会 2010年度 第41回研究会（26-27日 熊本保健科学大学ー濱岡）

9月

- ・私立短期大学図書館協議会 全国研修会（2-3日 青森ー濱岡）
- ・第28回日本カトリック短期大学事務職員研修会（2日 京橋ー金森）

11月

- ・大阪私立中学校・高等学校図書館研究会 第2回研修会（10日 関西大学中等部・高等部ライブラリーー谷嶋）

12月

- ・私立短期大学図書館協議会 臨時総会（9日 東京ー濱岡）

1月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 司書部 冬の研究集会（26日 大阪府立布施高等学校ー金森）

2月

- ・私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会 2010 年度臨時総会（18 日 大阪芸術大学短期大学部 大阪学舎－濱岡）

7. 土曜開館

原則として中・高の授業に対応し、第2土曜日を除き開館している。2010 年度は 34 回土曜日開館を行った。開館時間は午前8時10分から午後3時まで（夏季特別開館時は午前9時から午後4時まで）とし、放課後にビデオやDVDを鑑賞できる時間を設定したが、閉館時までの利用はほとんど無く、有効な利用がなされていないのが現状である。今後のさらなる広報が必要と思われる。

8. 広報活動

- ・主に学生・生徒を対象とした新着図書案内『あたらしい本』『新着案内 らい★ぶらり』を不定期ではあるが 15 回発行した。また、図書館前の掲示板や図書館内には、新着図書案内や各種ポスターを掲示し、随時入れ替えを行っている。
- ・『図書館員が薦めるこの1冊』を毎週1週間、『テーマ展示』を2テーマを毎週交互に2週間展示し、利用を促している。
- ・インターネット上の図書館サイトには、お知らせや開館カレンダーなどを随時アップロードしている。
- ・4月の学院総合連絡会において、教職員に図書館活動について理解していただくために図書館ニュースを配布した。
- ・幼稚園では『としょかんつうしん』、小学校では『図書館だより(小学校版)』、中・高等部では『らい★ぶらり(中・高版)』『新着案内 らい★ぶらり』『図書館ニュース(先生方へ)』、を発行した。

9. 学外者利用

2003 年度より学外者利用規定を施行し、これまでの保護者・卒業生に加えて学外者にも図書館開放を行っている。2010 年度は、利用登録が4名約300冊の貸出があり、資料閲覧のための来館が4件あった。

Ⅲ. 全体統計資料

1. 蔵書冊数(2011年3月31日現在)

短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
101,007	48,116	13,028	15,921	5,206	183,278

* 蔵書数には図書・ビデオ・DVD・LD・CD・カセットを含む。

2. 年間受入資料数

		短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
購入	冊数	2,204	1,216	469	644	200	4,733
	金額	5,499,788	1,699,610	649,876	819,714	219,776	8,888,764
寄贈	冊数	502	63	17	66	13	661
	金額	1,183,390	58,919	20,720	80,580	11,739	1,355,348
合計	冊数	2,706	1,279	486	710	213	5,394
	金額	6,683,178	1,758,529	670,596	900,294	231,515	10,244,112

* 詳細は各校の年間受入資料数を参照のこと。

3. 除籍冊数

短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
1,145	913	423	301	165	2,947

2010年度も分野を問わず地下書架の古本を中心に除籍を行った。また、同時に不明本・破損本の除籍も行った。

除籍図書で再利用可能なものは古書展示として利用者に提供している。

4. 購読雑誌・新聞数

	日本語	外国語	合計
雑誌	209種	2種	211種
新聞	8種	1種	9種

5. 開館日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(日)
20	22	25	25	6	23	24	23	18	18	22	16	242

6. 文献複写依頼件数

	件数	依頼者数
発注	78	11
受注	7	

7. 図書の館外貸借冊数

	国公立大学	私立大学	中・高校	その他	合計
貸出	3	2	89	7	101
借用	0	4	2	7	13

* その他とは、公共図書館・各種研究所のことを言う。

8. 貸出統計(5年間の推移)

貸出冊数及び1人当たりの貸出数

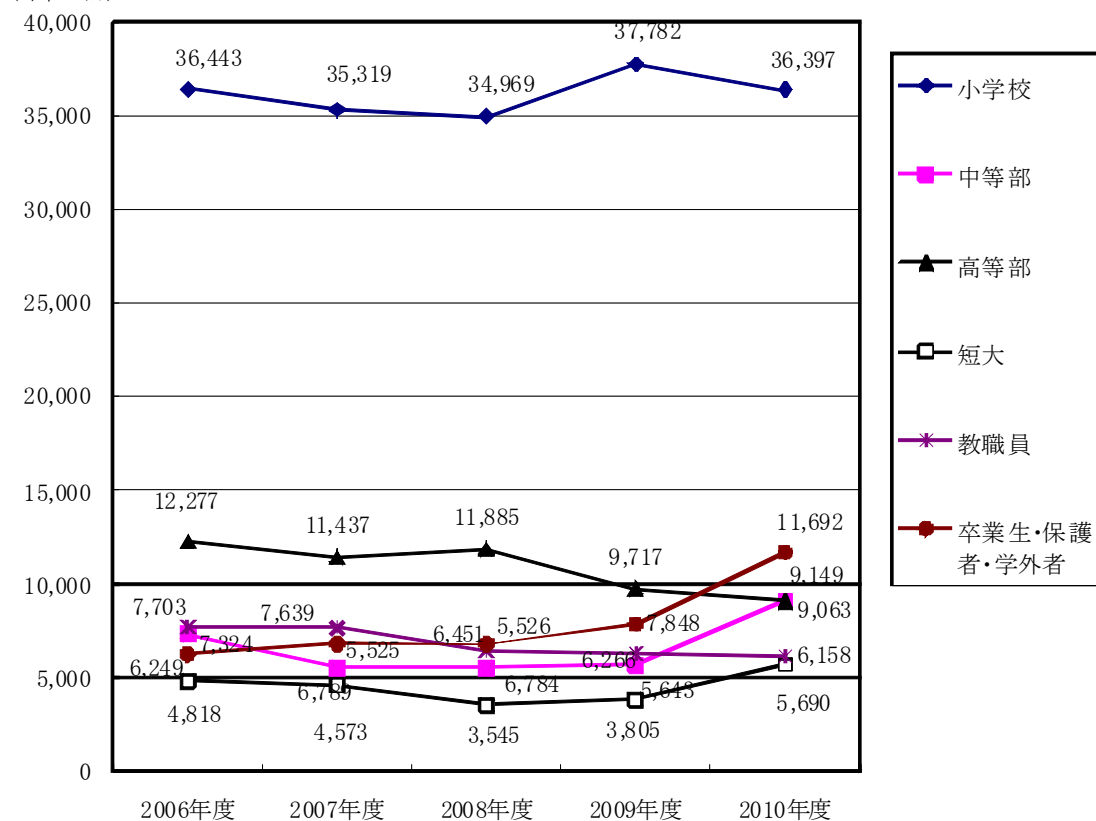
		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
対象人数(人)	小学校	544	530	527	503	466	
	中等部	294	289	316	323	311	
	高等部	724	658	587	551	537	
	短大	377	317	287	271	303	
	教職員	271	269	270	257	272	
	卒業生・保護者・学外者	336	293	399	428	353	
	合計	2,546	2,356	2,386	2,333	2,242	
貸出冊数(冊)	小学校	36,443	35,319	34,969	37,782	36,397	
	中等部	7,324	5,525	5,526	5,643	9,149	
	高等部	12,277	11,437	11,885	9,717	9,063	
	短大	4,818	4,573	3,545	3,805	5,690	
	教職員	7,703	7,639	6,451	6,266	6,158	
	学外者	卒業生	1,006	1,173	1,048	823	933
		保護者	5,243	5,616	5,668	6,826	10,459
		学外者			68	199	300
		小計	6,249	6,789	6,784	7,848	11,692
	合計	74,814	71,282	69,160	71,061	78,149	
1人当たり 貸出冊数(冊) (小数点第一位 四捨五入)	小学校	67	67	66	75	78	
	中等部	25	19	17	17	29	
	高等部	17	17	20	18	17	
	短大	13	14	12	14	19	
	教職員	28	28	24	24	23	
	卒業生・保護者・学外者	19	23	17	18	33	

* 保護者には既に子どもが卒業している場合もある。

* 保護者には幼稚園の親子教室参加者も含む。

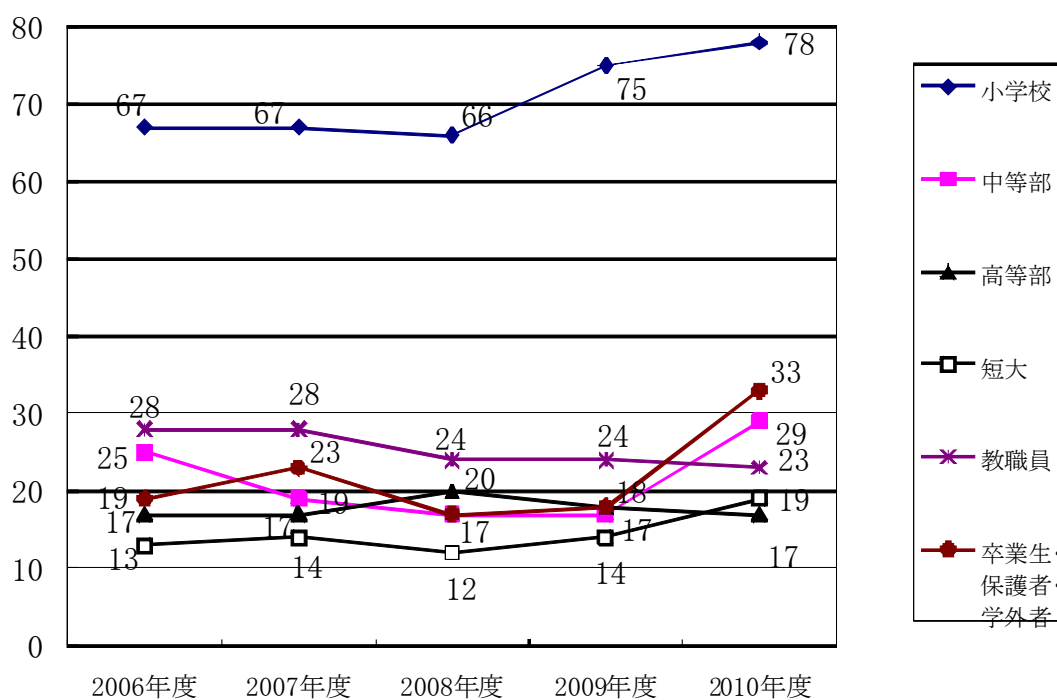
学校別貸出冊数推移

(単位:冊)



一人当たり貸出冊数

(単位:冊)



分類別貸出冊数

	総記 (000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
小学校	54	432	1,460	596	1,391
中等部	18	237	155	225	272
高等部	30	193	427	338	270
短大	6	178	67	1,695	976
教職員	90	421	417	957	825
卒業生・保護者・学外者	65	241	493	702	449
合計	263	1,702	3,019	4,513	4,183

	技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
小学校	1,141	716	1,001	297	29,309
中等部	397	38	3,708	331	3,668
高等部	251	42	2,975	563	3,918
短大	181	27	1,020	42	1,451
教職員	300	111	1,189	270	1,411
卒業生・保護者・学外者	851	176	1,414	252	6,976
合計	3,121	1,110	11,307	1,755	46,733

資料別貸出数

		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度		2010年度	
中等部	図書	5,961	81%	4,682	85%	4,380	79%	4,657	83%	7,439	81%
	視聴覚	1,363	19%	843	15%	1,146	21%	986	17%	1,710	19%
高等部	図書	9,301	76%	9,294	81%	9,556	80%	7,798	80%	7,431	82%
	視聴覚	2,976	24%	2,143	19%	2,329	20%	1,918	20%	1,632	18%
短大	図書	4,095	85%	3,822	84%	2,915	82%	3,365	88%	5,186	91%
	視聴覚	723	15%	751	16%	630	18%	446	12%	505	9%
教職員	図書	5,874	76%	5,973	78%	5,207	81%	4,924	82%	5,057	82%
	視聴覚	1,829	24%	1,666	22%	1,244	19%	1,050	18%	1,101	18%
卒業生・保護者・学外者	図書	5,605	90%	6,099	90%	6,265	92%	6,613	97%	11,253	96%
	視聴覚	644	10%	690	10%	519	8%	213	3%	439	4%

* 小学校は図書のみ利用のため対象外とする。

* 視聴覚資料とはCD・カセット・ビデオ・LD・DVD等、印刷メディア以外の資料を指す。

* 右欄のパーセント(%)は全貸出数に占める割合を示す。小数点第一位四捨五入。

9. 資料別予約件数

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
中等部	図書	354	311	237	264	866
	CD	101	48	85	71	189
高等部	図書	480	556	398	311	446
	CD	131	96	190	122	185
短大	図書	49	52	15	34	41
	CD	7	1	2	8	3
教職員	図書	477	586	475	376	419
	CD	14	11	5	1	7
卒業生・保護者・学外者	図書	63	66	88	117	136
	CD	8	5	8	0	9
合計	図書	1,423	1,571	1,213	1,110	1,506
	CD	261	161	290	202	393
	総計	1,684	1,732	1,503	1,312	1,899

* 教職員のみ、CDにDVDなどの視聴覚資料全てを含む。

10. 購入希望受付件数

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
中等部	167	115	135	113	272
高等部	314	288	591	392	205
短大	49	14	16	21	16
合計	530	417	742	526	493

* 教職員は購入申請のため除く。

* 卒業生・保護者の購入希望は受け付けていないため除く。

* 絶版などで入手できなかったものも含む。

11. 館内施設利用件数

研究室利用件数 (過去5年間)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
学習	618	594	655	515	440
中等部	139	144	184	148	198
高等部	427	409	407	353	230
短大	47	27	39	10	5
初等教育	46	25	32	9	5
人間環境	1	2	7	1	
看護				0	0
卒業生・保護者	5	14	25	4	7
DVD・ビデオ	715	765	715	607	491
中等部	256	248	229	256	234
高等部	320	409	342	254	211
短大	132	103	126	84	33
初等教育	107	100	121	79	33
人間環境	25	3	5	5	
看護				0	0
卒業生・保護者	7	5	18	13	13
全利用回数	1,333	1,359	1,370	1,122	931

* グループでの利用は1回とする。

* 2009年度の人間環境学科は2回生のみ、看護学科は1回生のみとする。

CD機器利用件数(過去5年間)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
中等部	18	17	17	9	62
高等部	11	16	20	10	39
短大	6	11	14	16	13
初等教育	5	11	8	16	13
人間環境	1	0	6	0	
看護				0	0
卒業生・保護者	1	2	1	0	2
合計	36	46	52	35	116

* 2009年度の人間環境学科は2回生のみ、看護学科は1回生のみとする。

インターネット利用件数(過去5年間)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
中等部	822	1,295	1,478	1,388	2,306
高等部	180	277	444	244	238
短大	3	1	7	3	0
初等教育	1	0	7	3	0
人間環境	2	1	0	0	
看護				0	0
卒業生・保護者	2	4	1	0	12
合計	1,007	1,577	1,930	1,635	2,556

* インターネット利用のカウン트는、昼休みと放課後のみとしている。

* 2009年度の人間環境学科は2回生のみ、看護学科は1回生のみとする。

研究室利用件数は減少している。これは学生・生徒に時間的余裕がなくなっているからではないだろうか。また、予算削減に伴ってDVDの新作があまり増えていないことも関係していると考えられる。

CD機器利用件数、インターネット利用件数ともに大幅に増加している。特に中学生の利用が多くなっている。

資料の貸出数は2009年度に比べ高校生を除き増加している。中でも中学生と保護者の貸出数が大きく伸びている。各校の分析は次章以降に記載する。保護者（特に幼稚園の保護者）の利用が年々増加している。お迎えの帰りに図書館に立ち寄ることが習慣になっている方も見受けられ、生涯学習の拠点として図書館が利用されることは喜ばしいことである。

今後も、だれもが利用しやすい図書館づくり、新鮮で魅力的な資料の充実などを心がけて活動していく必要がある。

IV. 短期大学活動報告・統計

1. 活動報告

1) 新入生オリエンテーション

1 回生オリエンテーションガイダンス期間中に、初等教育学科は 15-16 名 4 グループ、看護学科は 20-21 名 4 グループに分けて、50 分間の図書館利用ガイダンス（利用説明、館内ツアーなど）を実施した。

2) 研究室蔵書点検

両学科とも 9 月に各研究室の蔵書点検を行った。

3) 鶴見学舎メディアコーナー

メディアコーナーの蔵書は、2010 年 3 月末の時点で 5,813 冊であり、年間 805 冊増加している。

4) 看護学科教員にメールによるお知らせ

4 月に看護学科教員に対し、図書購入・相互貸借・文献複写等の申し込み方法をメールにてお知らせした。また、データベース「医中誌web」についてのお知らせも行った。

5) 看護学科 1 回生・2 回生に文献探索ガイダンス

看護学科

6 月 11 日 1 回生・授業「文章表現」文献探索基礎

6 月 17 日 2 回生・授業「母性看護の課題と探求」文献複写説明

12 月 14・15 日 1 回生・授業「文章表現」データベース講習

12 月 23 日 2 回生・授業「看護研究の基礎」データベース講習

2. 図書予算決算報告

寄贈図書を含まない 2010 年度の受入資料数は、2,204 冊 5,499,788 円で、学生一人当たりになると約 7.3 冊 18,211 円になる。

2010 年度は看護学科の図書を 148 冊購入した。これに対し、初等教育学科は 351 冊であり 2 倍以上となっている。しかし、執行金額は看護学科が約 118 万円に対し、初等教育学科は約 87 万円と看護学科の図書の単価が高いのがわかる。

3. 蔵書冊数

101,007 冊（2011 年 3 月 31 日現在）

*** 決算報告書 ***					
科目名	執行額				
	冊数	金額			
初等教育	351	871,031			
看護	148	1,178,271			
参考図書	87	584,694			
図書館	1,374	2,209,243			
図書館同和	5	13,798			
小計	1,965	4,857,037			
入試部			佐嶋研究室	1	2,160
教務課			芝研究室		
学生課			鈴木研究室		
同和教育	1	4,200	高井研究室	2	28,255
情報教育	9	18,956	瀧本研究室	6	26,081
児童教育研究所			田中研究室	12	32,508
環境総合研究所			種谷研究室		
			長尾研究室	10	23,227
			中嶋研究室	12	26,699
足高研究室	9	12,338	中野研究室	13	27,404
足立研究室	15	32,604	西研究室	9	23,152
アラン研究室	3	13,203	橋本研究室	12	33,212
飯田研究室	15	34,833	馬場研究室		
井内研究室	9	28,632	平田研究室		
市川研究室	9	29,389	廣田研究室	6	16,821
岩井研究室	19	27,214	藤本研究室	2	3,402
上田研究室	11	45,503	古谷研究室	9	22,571
梅林研究室			松井研究室	11	31,962
奥田研究室			宮崎研究室		
角地研究室	11	23,907	藪内研究室	11	28,916
高坂研究室			山本研究室		
小林研究室	3	8,221	吉田研究室		
佐久研究室	9	37,381			
			合計	2,204	5,499,788
<学生一人当たり購入冊数/7.3冊 金額/18,211円>					

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	推薦図書	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	53	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
000	91,156	106,380	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	197,536
哲学	163	10	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	175
100	325,554	88,219	0	0	0	0	0	0	15,750	0	3,591	0	433,114
歴史	132	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	141
200	211,530	82,995	0	0	0	1,512	0	0	0	0	0	0	296,037
社会科学	661	24	0	0	0	32	4	0	0	0	11	0	732
300	1,182,169	173,292	0	0	0	23,149	6,804	0	0	0	107,939	0	1,493,353
自然科学	670	17	0	0	0	1	0	0	0	5	34	1	728
400	1,669,136	88,730	0	0	0	756	0	0	0	81,525	838,271	8,925	2,687,343
技術	148	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	152
500	204,900	0	0	0	0	1,228	0	0	0	19,000	5,481	0	230,609
産業	61	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62
600	90,009	2,741	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92,750
芸術	207	2	0	0	67	11	0	0	17	0	29	0	333
700	418,718	7,749	0	0	123,666	7,312	0	0	40,787	0	63,403	0	661,635
言語	71	15	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	87
800	119,646	94,018	0	0	0	0	0	1,300	0	0	0	0	214,964
文学	181	2	38	6	0	0	0	0	0	0	0	0	227
900	302,555	20,979	43,231	9,072	0	0	0	0	0	0	0	0	375,837
合計	2,347	95	38	6	67	46	4	1	18	7	76	1	2,706
	4,615,373	665,103	43,231	9,072	123,666	33,957	6,804	1,300	56,537	100,525	1,018,685	8,925	6,683,178

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

和洋別受入数

	購入		寄贈		その他		合計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
和書	2,184	5,374,866	325	748,568	119	318,672	2,628	6,442,106
洋書	20	124,922	58	116,150	0	0	78	241,072
合計	2,204	5,499,788	383	864,718	119	318,672	2,706	6,683,178

年間受入資料数は、2,706冊 6,683,178円で一冊平均2,470円である。2009年度より受入金額で1,870,513円減少しており受入冊数も238冊少ない。

5. 貸出冊数

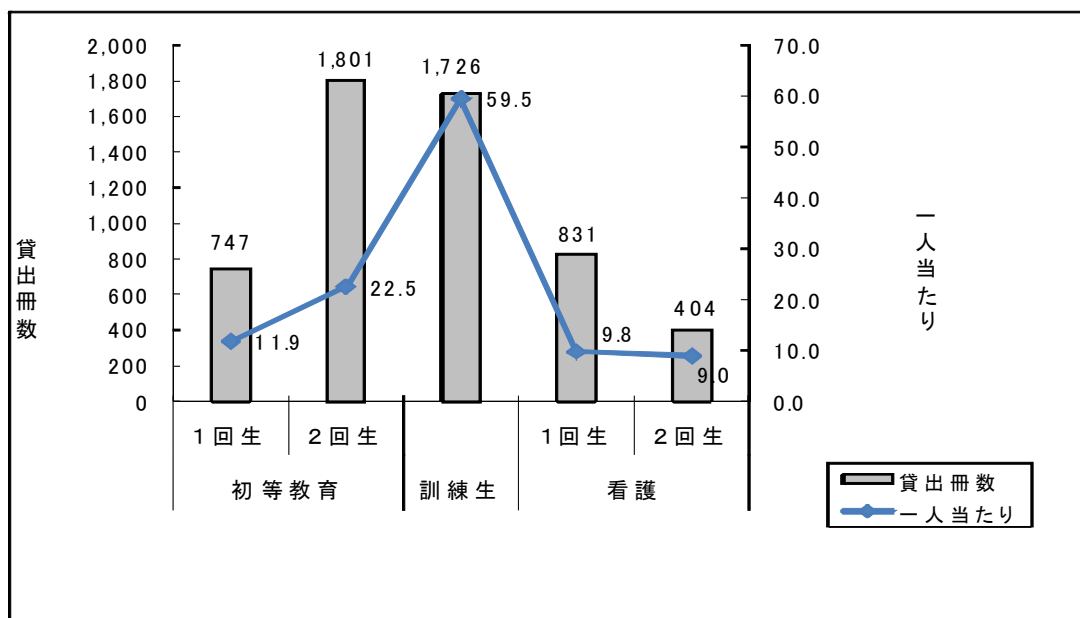
貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
対象人数（人）	359	317	287	271	302
貸出冊数（冊）	4,534	4,573	3,545	3,805	5,691
1人当たり貸出冊数（冊）	12.62	14.43	12.35	14.0	18.8
初教1人当たり	15.46	17.16	14.66	19.8	24.8
看護1人当たり				4.2	9.9

資料別貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
図書	4,095	3,822	2,915	3,365	5,186
A V資料	723	751	630	446	505
合計	4,818	4,573	3,545	3,805	5,691

学科・学年別貸出数



初等教育学科学年別統計

学年	0分類	1分類	2分類	3分類	幼児教育	4分類	5分類	6分類	7分類	CD類	8分類	9分類	絵本	分類無	合計
1回生	0	35	24	232	77	43	19	0	133	79	7	251	145	3	747
2回生	3	57	20	876	436	95	96	19	551	132	19	703	524	19	1,801
訓練生	3	63	41	627	298	58	88	8	442	220	18	351	182	27	1,726

* 幼児教育（376.1-）は3分類の冊数に含まれる。

* CD類は7分類の冊数に含まれる。

* 絵本は9分類の冊数に含まれる。

看護学年別統計

学年	0分類	1分類	2分類	3分類	4分類	5分類	6分類	7分類	CD類	8分類	9分類	分類無	合計
1回生	2	40	1	131	489	5	4	77	27	2	79	1	831
2回生	0	6	0	7	311	0	0	46	46	2	28	4	404

鶴見学舎メディアコーナーの年間貸出冊数

初教1	初教2	看護1	看護2	合計
12	0	561	329	902

2010年度の特徴は、貸出冊数が5,691冊と過去5年間の最も高い数字となったことである。

初等教育学科では、1回生の貸出冊数が2009年度より300冊弱減少しているものの、2回生及び訓練生の貸出が共に500冊以上増加している。また、訓練生は29名と非常に人数が少ないにもかかわらず、一人当たりの貸出冊数が59.5冊と非常に高い数値となっている。

看護学科では、1人当たりの貸出数は1・2回生ともほぼ同数である。ただし、基本的な資料数が少ないため、課題が出された時などに特定分野を貸出禁止とし、コピーのみで対応する時期もあり、貸出冊数に現れない資料の利用がある。

6. まとめ

2010年度は、鶴見メディアコーナーに昼からのみではあるが職員が配置されたことである。

これにより、看護学科の学生・教員とのコミュニケーションがスムーズとなり、授業への参加・協力、学生への援助を行うことができた。また、蔵書も授業内容・学生の要求をもとに選書できるようになり、より有効な蔵書構成が可能となった。

文献探索指導も授業時間を頂き、文献探索基礎・文献複写利用・データベース利用法(1回生・2回生)の4講座を7回行ったが、その後、データベース・文献複写はあまり利用されていないようである。学生にはできるだけ図書のみではなく雑誌論文も含めた文献探索をアドバイスしていきたい。

初等教育学科では、1・2回生の貸出の増減は多少あるが、訓練生の貸出数が際立って多い。しかし、2011年度前期で訓練生が卒業するため、貸出数が減少すると思われる。

毎年予算額が減少する中、有効な選書を行い学生に提供できるように努めたい。

V. 高等部活動報告・統計

1. 活動報告

1) オリエンテーション

オリエンテーション期間中に外部生を対象に35分を用い、1グループ11～14名に1人の館員がつき、館内ツアーと図書館ガイドブックによる利用案内を行った。

2) 教科との連携

- ・2年生の総合学習において、パスファインダー『「沖縄」「八重山諸島」に関する資料の探し方～修学旅行の事前学習に向けて～』、『「フランス」「パリ」に関する資料の探し方～修学旅行の事前学習に向けて～』を全員に配布し、調べ学習に供した。
- ・3年生の家庭の授業において、絵本や保育関係資料調べに図書館の資料が利用された。
- ・美術の授業では美術書が良く利用された。

3) 図書委員会活動

高校図書委員会は各クラスより2名の委員が選出され、計34名で組織されていた。しかしながらあまり活動できていない。

4) 広報活動

広報紙『らい★ぶらり』を月1～2回発行し、全生徒・全教職員に配布し、図書館利用や貸出の促進を図った。教員への広報紙『図書館ニュース(先生方へ)』を4回発行し、図書館活動の紹介、クラス担任へのお願いや購入申請方法・予算残高のお知らせなどを行った。

また、「テーマ展示」「図書館員が薦める今週の一冊」など実物展示による広報活動を実施した。

5) 図書館活動

生徒が参加した図書館活動として、2009年度の版画展示に続いて美術部の写真を各階の壁面を使って展示した。

2. 図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
高校図書	302	495,387
図書館	631	798,830
同和教育	1	3,024
リクエスト	180	176,010
視聴覚リクエスト	102	226,359
合計	1,216	1,699,610

一人当たりの購入数/2.26冊 金額/3,165円

購入資料数(寄贈資料を除く)は1,216冊、1,699,610円である。一人当たりの購入数は2.26冊、3,165円であり、予算削減に伴い2009年度より減少している。

2010年度の先生方による購入申請(高校図書)冊数は全体の約24.8%で毎年減少している。

生徒からの購入希望は、本については購入希望が減少傾向にあるので制限を設けなかった。しかしながら、視聴覚資料（視聴覚リクエスト）は、予算が不足するため毎年制限（一人当たりCDは月に2枚まで）を設けた。

3. 蔵書冊数

48,116 冊(2011年3月31日現在)

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	CD	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
000	17,889	14,882	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,771
哲学	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102
100	137,986	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137,986
歴史	115	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117
200	144,275	3,497	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147,772
社会科学	140	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	146
300	175,091	65,745	0	0	0	1,229	0	0	0	800	0	242,865
自然科学	66	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	67
400	84,024	0	0	0	0	899	0	0	0	0	0	84,923
技術	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46
500	64,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,174
産業	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
600	40,902	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,902
芸術	107	1	0	0	7	12	0	105	0	10	0	242
700	182,465	1,323	0	0	12,475	7,015	0	234,152	0	37,326	0	474,756
言語	78	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
800	94,486	2,646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97,132
文学	418	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	427
900	409,378	17,010	8,860	0	0	0	0	0	0	0	0	435,248
合計	1,123	11	8	0	7	14	0	105	0	11	0	1,279
	1,350,670	105,103	8,860	0	12,475	9,143	0	234,152	0	38,126	0	1,758,529

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料数は、1,279 冊、1,758,529 円、一冊平均 1,375 円で、毎年予算削減に伴い年々受入冊数が減少している。

受入資料の約 88%が一般図書で、この比率はほとんど変化がない。

分野別に見ると文学が全体の 33%と毎年最も多くを占めているが 2009 年度より 6%程度減少している。続いて芸術が全体の 19%となっている。内容的には文学が研究書・小説・文庫本で読み物が中心であり、芸術の 43%がCDとなっている。授業での調べ学習や、レポート課題がほとんどないため、どうしても学習に関する受入資料数が少なくなっている。

今後も、よりよい資料提供を行うために、蔵書構成に留意し購入を図っていきたい。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
対象人数（人）	724	658	587	551	537
貸出冊数（冊）	12,277	11,437	11,885	9,716	9,063
1人当たり貸出冊数（冊）	16.96	17.38	20.25	17.63	16.9

学年別貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
1年	3,541	4,636	4,830	3,067	3,415
2年	4,287	2,913	4,428	3,925	2,528
3年	4,452	3,888	2,627	2,724	3,120

学年別一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
1年	16.2	23.2	26.8	16.9	18.4
2年	17.4	13.5	22.5	22.2	14.4
3年	17.2	16.1	12.5	14.1	17.8

資料別貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
図書	9,301	9,294	9,556	7,798	7,431
AV資料	2,976	2,143	2,329	1,918	1,632
合計	12,277	11,437	11,885	9,716	9,063

分類別貸出冊数

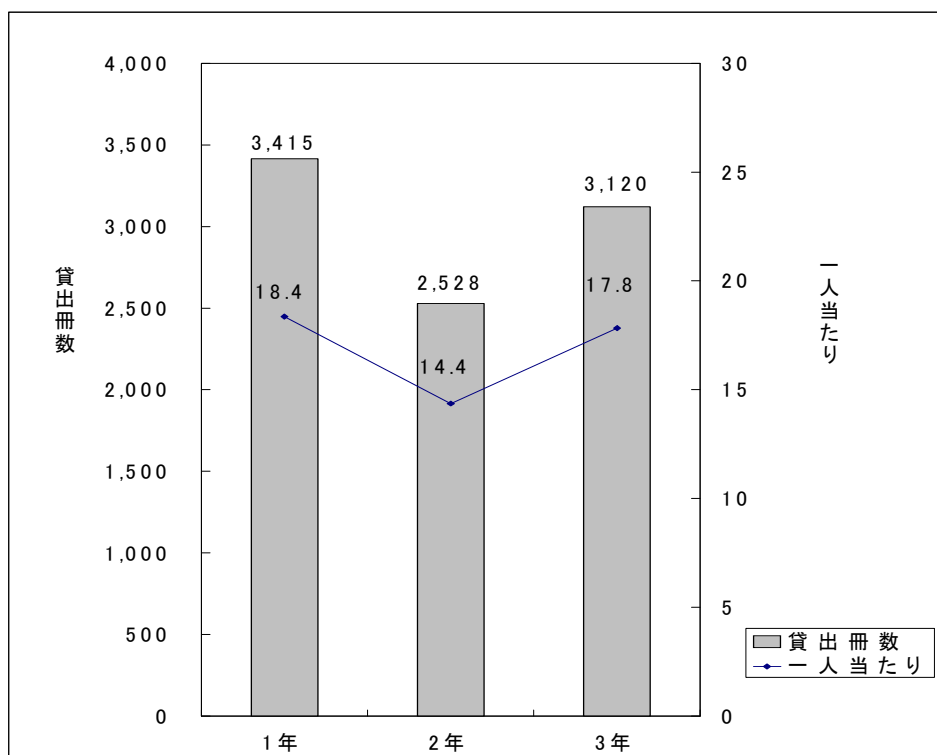
総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
30	193	427	338	270
技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
251	42	2,975	563	3,918

一人当たりの貸出冊数は、2009-2010年度と続けて減少してしまった。学年別一人当たりの貸出数を見ると2年生の減少が目立っており、この学年は1年生のときから貸出数が少ない。3年生は1・2年生のときはよく借りていたが3年生になって貸出が極端に減少している。

貸出数を資料別で見ると、約82%が図書になっている。分類別では、文学が43%と高く、続いて芸術が33%であり、両分野で76%を占めており、この比率は貸出数が減少してもほとんど変化がない。内容を見ると例年同様、文学においては小説・文庫本・学習参考書、芸術においては音楽CD・楽譜・美術関係の本が多くなっている。

引き続き生徒のニーズを把握し、求める資料の提供や広報活動に努め、貸出を伸ばしていきたい。

学年別貸出数



6. まとめ

2010年度も全体的に図書館の利用が減少している。広報紙『らい★ぶらり』を全生徒へ配布、「テーマ展示」「図書館員が薦める今週の一冊」の実施や、予約・購入希望など生徒のニーズに応える資料提供への取り組みを引き続き行っていたのだが、利用には結びついていない。

新しい学習指導要領では、「各教科等の指導に当たっては、生徒の思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実すること」となり、全教科・領域で「言語力」の育成を図ることになった。これは全教員が各教科指導の中で読書指導や読書活動を取り入れた学習を行うことになると考えられ、教科書だけの学習に止まることなく豊富な資料を使用した授業が求められている。その時に役に立つのが豊富な資料を保存している図書館である。

今後も先生方と図書館員が協力し、生徒に対し様々な働きかけを行い、「生きる力」の基本となる調べる力・探求する力をつけるための利用指導を行わなければならないと考えている。是非とも先生方には授業での図書館活用をお願いしたいものである。

VI. 中等部活動報告・統計

1. 活動報告

1) オリエンテーション

4月9・12日に1年生全員を対象に1クラスを10～12名のグループに分け、図書館ガイドブックに基づき50分間の利用案内と館内ツアーを行った。

2) 教科との連携

- ・3年生の総合学習において、修学旅行の事前事後学習『「北海道」に関する資料』について調べ学習の利用があった。
- ・1年生の家庭科・保健、2年生の家庭科の授業において調べ学習の利用があった。

3) 広報活動

広報誌『らい★ぶらり』を毎月発行し全生徒・全教職員に配布している。配布すると直ちに「この本どこにある?」「お母さんがこの本読みたいって」などの反響が必ずあるが、利用拡大には繋がっていない様である。

また、教職員への広報誌『図書館ニュース(先生方へ)』を全教職員に学期に1～2回配布し、購入申請方法・予算残高のお知らせや図書館活動などを紹介した。

4) 資料の別置

「修学旅行」関連資料(6-7月)を4階の研究室前に別置した。また、雰囲気作りのためポスターを掲示した。

5) その他

中学生は総退出時間が設定されており、それ以後に居残りを希望する生徒は、カウンターの「図書館居残り届」に必要事項を記入することで放課後の利用が認められている。

2010年度の居残り届提出者数は延べ2,306名と2009年度の2,114名より増加している。このことから中学生の放課後の図書館利用が増加していることがわかる。

2. 図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
中学校図書	46	145,602
図書館	279	371,393
同和教育	0	0
リクエスト	144	132,881
合計	469	649,876

一人当たり購入数約1.5/冊 金額約2,089/円

2010年度の購入資料数(寄贈図書を除く)は、469冊649,876円である。一人当たりの購入数は、約1.5冊2,089円である。

図書館での選書が全体購入冊数の約60%を占めており、2009年度の約75%より減少してい

る。先生方からの購入申請（中学校図書）図書冊数は、2009年度の約12%から約10%と減少している。今後も授業・研究に必要な図書、生徒に推薦する図書など幅広い分野における積極的な購入申請をお願いしたい。

生徒からの購入希望冊数（リクエスト）は2009年度の約13%から約30%と大幅に増加しており、喜ばしいことである。

3. 蔵書冊数

13,028冊（2011年3月31日現在）

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
000	4,423	87,465	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91,888
哲学	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
100	47,295	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47,295
歴史	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10
200	19,657	0	0	0	0	0	0	0	0	3,791	0	23,448
社会科学	54	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	57
300	80,646	900	0	0	0	1,598	0	0	0	0	0	83,144
自然科学	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
400	81,641	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81,641
技術	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
500	16,274	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,274
産業	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
600	15,406	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,406
芸術	56	0	0	0	9	1	0	2	0	9	0	77
700	70,830	0	0	0	22,112	719	0	5,279	0	24,503	0	123,443
言語	26	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	27
800	28,610	0	0	0	0	831	0	0	0	0	0	29,441
文学	176	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176
900	158,616	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	158,616
合計	448	13	0	0	9	4	0	2	0	10	0	486
	523,398	88,365	0	0	22,112	3,148	0	5,279	0	28,294	0	670,596

（上段：冊数、下段：金額）寄贈図書を含む

年間受入資料数は、486冊670,596円で一冊平均1,379円である。

毎年のことながら9分類（文学）の受入れが最も多くなっており、2010年度も受入資料の約37%を占める結果となってしまった。

内容的には生徒の読み物が中心になっており、購入希望の文庫本や話題の小説が大半を占めている。

2011年度も引き続き全体構成を意識して選書に際して全体のバランスを今一度考慮するように努めなければならないと考えている。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
対象人数（人）	294	289	316	323	311
貸出冊数（冊）	7,324	5,525	5,526	5,643	9,149
1人当たり貸出冊数(冊)	24.91	19.12	17.49	17.47	29.41

資料別貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
図書	5,961	4,682	4,380	4,657	7,439
A V資料	1,363	843	1,146	986	1,710
合計	7,324	5,525	5,526	5,643	9,149

分類別貸出冊数

総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
18	237	155	225	272

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
397	38	3,708	331	3,668

クラス別貸出冊数

	A組	B組	C組	D組	合計
1年	1,049	1,155	1,110	581	3,862
2年	1,540	899	490	582	3,511
3年	658	326	625	167	1,776

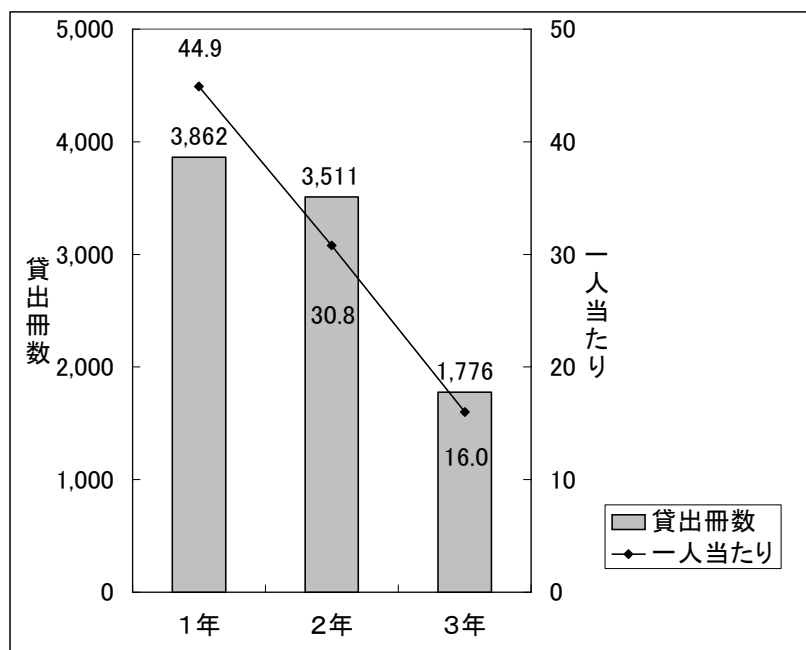
学年別貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
1年	3,001	1,784	2,691	2,898	3,862
2年	2,291	1,667	1,474	1,735	3,511
3年	2,032	2,074	1,361	1,010	1,776

学年別一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
1年	28.3	18.2	24.7	25.2	44.9
2年	27	15.6	14.9	15.8	30.8
3年	19.7	24.7	12.6	10.3	16

学年別貸出数



一人当たりの貸出数は 2007 年度以降減少傾向にあったが、2010 年度は大幅に増加しており平均 29 冊である。

資料別貸出数を見ると図書が約 81%、CD が 19% である。2009 年度より図書が 2% 減少し、その分 CD が増加している。

分類別貸出数を見ると 7 分類（芸術）、9 分類（文学）の順に多くなっており、全体の貸出冊数の約 80% を占めている。これらの大半が生徒からの購入希望として出されたものであると考えられる。

クラス別貸出数を見ると学年・クラスにより多少ばらつきが見受けられる。これは、クラスに図書館をよく利用し、資料を借りていく生徒がいるかどうかによると思われる。

学年別貸出数・学年別一人当たりの貸出数を見ると 2 年生の貸出数が 1 年生の時よりも増加しており、3 年生になってもこのままの状態が継続して欲しい。

6. まとめ

2007 年度から 2009 年度まで減少の一途をたどっていた貸出数の減少が下げ止まり、2010 年度は大幅に増加している。全体統計資料の資料別予約件数や購入希望件数も大幅に増加しており、読書意欲のあらわれが感じられる。また、総退出以後の居残りを希望し「図書館居残り届」の届出者は年々増加しており、様々な形での図書館の利用が多くなっていることは喜ばしいことである。

図書館での選書が約 60% を占めており、先生方からの購入申請（中学校図書）が 2009 年度に比べて減少している。図書館での選書では、蔵書のバランスを取るのが難しい状況であり、先生方の協力が必要である。今後も各自の授業・研究に必要な図書、生徒に推薦する図書など幅広い分野における積極的な購入申請をお願いしたい。それと同時に、2010 年度に調べ学習で利用のあった教科以外の利用にも発展していくよう先生方といろいろな面で連携を図りながら、支援を行っていききたい。

VII. 小学校活動報告・統計

1. 活動報告

1) オリエンテーション

2年生以上の各クラスで最初の「図書の日」に貸出・返却・利用マナーなどを説明した。2年生ではリクエストについて、4年生以上には貸出カードの個人管理についての注意を加えて行っている。1年生は連休明けに図書館訪問があり、貸出は5月中旬から始めた。10月にはコンピュータの授業時間に協力いただき、小学校の多目的室で4年生を対象にコンピュータ検索のオリエンテーションを行った。

2) 図書館サービス

図書館が行ったレファレンス、授業との連携、読み聞かせ・本の紹介などには下記のものがあった。

- ・ 毎年恒例の体験学習の広島（5年）や修学旅行の関東（6年）の資料集め
- ・ 6年生＜慣用句・ことわざ＞の資料集め
- ・ 夏休み前に各学年の＜国語単元「この本読んでみよう」＞に紹介されている本を紹介
- ・ 6年生＜歴史人物調べ＞
- ・ 5年生＜戦争や平和に関する詩＞があれば、学習発表会に使いたい。
- ・ 2年生＜生活科＞ お正月行事や遊びなどの冬の行事に関する本で、2年生が読める程度のもを集める。
- ・ 4年生で年鑑の使い方をプリントを使って説明する。
- ・ 教育会広報委員会で発行している「教育会だより」に図書館からの推薦本を掲載するというので、学期毎に広報委員の保護者の方へいくつかのテーマで本の準備や紹介（推薦文は広報委員の方が書かれた）

上記の他にも先生方から教科単元に関する資料集めの依頼はあり、特に6年生が多かった。また、先生の出張や研究授業のため不在になるため、図書館の利用をしたいということがあり、その時には読み聞かせやブックトークなど行った。担任不在の時には、そのときの児童たちの様子やどんな本を紹介したかなど報告するようにしている。

2. 図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
小学校図書	644	819,714
同和教育	0	0
合計	644	819,714

一人当たり購入数／ 1.38冊 金額／1,755円

3. 蔵書冊数

15,921冊（2011年3月31日現在）

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	CD	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
000	16,055	2,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,229
哲学	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
100	27,903	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,903
歴史	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
200	32,588	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,588
社会科学	35	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
300	73,561	1,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,168
自然科学	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
400	115,344	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,344
技術	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
500	63,722	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63,722
産業	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
600	48,579	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,579
芸術	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
700	28,172	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,172
言語	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
800	13,189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,189
文学	256	0	187	0	0	0	0	0	0	0	0	443
900	250,594	0	226,806	0	0	0	0	0	0	0	0	477,400
合計	521	2	187	0	0	0	0	0	0	0	0	710
	669,707	3,781	226,806	0	0	0	0	0	0	0	0	900,294

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料冊数は、710冊 900,294円で一冊平均1,268円である。

9分類(文学)の受入が高い比率を占めている。朝の読書には図書館の本を読むよう指導されており、あまり調べ学習が活発ではないためよく利用される9分類の購入が多くなるのは仕方ないとしても、できるだけ蔵書構成を考え購入するよう心がけていきたい。

2010年度は選書委員の先生方と本屋に出向き現物を見ての選書をする代わりに、次年度から使用する国語の教科書(光村図書)に掲載されている本をチェックし、所蔵のないものを購入した。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数(過去5年間)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
対象人数(人)	544	530	527	503	467
貸出冊数(冊)	36,443	35,319	34,969	37,782	36,397
1人当たり貸出冊数(冊)	66.99	66.64	66.35	75.1	77.9

分類別貸出冊数

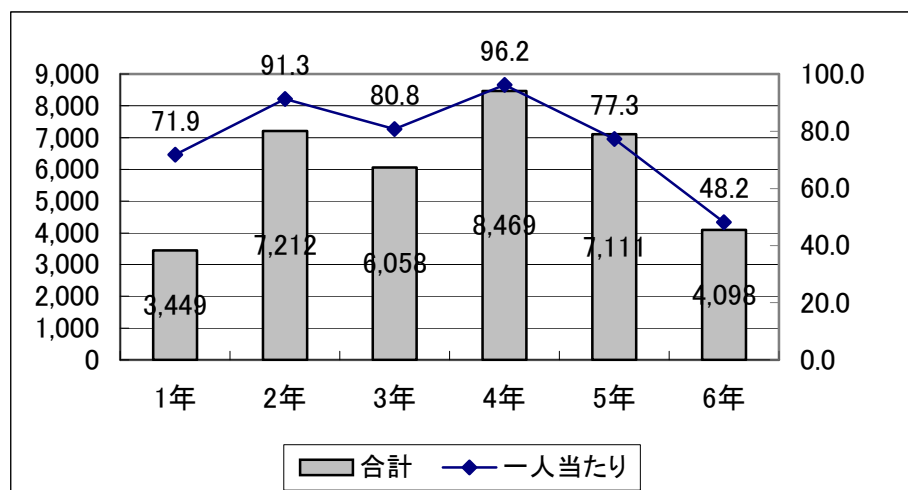
総記 (000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
54	432	1,460	596	1,391

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
1,141	716	1,001	297	29,309

学年別貸出冊数

	貸出冊数	児童数	一人当たり
1年	3,449	48	71.9
2年	7,212	79	91.3
3年	6,058	75	80.8
4年	8,469	88	96.2
5年	7,111	92	77.3
6年	4,098	85	48.2

学年別貸出冊数



分類別クラス貸出冊数

総記 (000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
10	1	55	59	36

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
22	6	10	7	106

* クラス貸出は調べ学習など学級で利用できるよう1ヶ月30冊を上限に貸し出している。

一人当たりの貸出冊数は66冊で推移していたが、2009年度に75冊に増加、2010年度も維持している。特に2年生と4年生の貸出増加がめざましく、一人当たりが90冊を超えることは今までになかった。残念なことに6年生は2009年度と比べると極端に減少している。貸出冊数はその年のクラスの雰囲気やその学年の傾向があるので、単に昨年度と比較するだけではないし、図書のある時間があるから仕方なく借りていることも考えられる。

貸出資料の約80%が9分類(文学)だった。シリーズものに人気があり、よく借りられリク

エストもついた。9分類（文学）以外の貸出では各分野ともに学習マンガに偏っている傾向がみられる。

調べ学習や学級文庫として使えるよう設定されているクラス貸出は300冊程度、実際に児童がどのように利用しているか把握できていない。

6. まとめ

よく借りられる分野に変化はなく、一人当たり96冊もの値を出した4年生には驚いた。ごくごく一部の児童たちが引き上げた数字だと思われる。ほぼ毎日の朝礼前や休み時間に来ては返し借りを繰り返していた。たくさん借りられるのは嬉しいのだが本当に読んでいるのだろうか、と思うこともしばしばある。「読みたい本ないし、これでいい」と言って適当に選ぶ児童も見受けられる。特に5・6年生に多い。単に貸し借りの場としての図書の間ではなく、授業と連携した本の紹介や読んでみようという気にさせる機会を先生方と協力し増やしていきたい。

また授業で利用する資料集めの依頼はあるが、集めた資料に不足がないのか調査できていない。次の調べ学習への充実につなげるためにも、相談・支援に努めていきたい。

VIII. 幼稚園活動報告・統計

1. 活動報告

幼稚園の活動は、幼稚園2階にある図書室で、保護者の協力のもとに各クラスから選出された図書委員6名×10クラスの計60名により、園児（A～Cぐみ、ひよこぐみ）を対象に貸出が行われている。

2010年度より始まった親子教室の第3期クラスにおいて、読み聞かせを行った。

1) 図書委員会（保護者委員）

- ・ 2010年6月3日 図書委員紹介・活動内容説明・役割分担
- ・ 2011年2月24日 反省会

2) 貸出・返却

開室日時： 毎週木曜日 12:00～14:00（年間19回最終日は返却のみ）

貸出冊数： 園児 3冊まで

貸出期間： 1週間

貸出等の手続きは図書委員12名・役員3名グループの輪番制によって行われている。

3) 発行物

- ・ 学院図書館案内（1学期始業時・入園時・親子教室利用者）

毎年年度の初めに、保護者の方々へ学院図書館の利用案内を配布している。

2010年度から親子教室の保護者への配布も行っている。

- ・ としょかんつうしん（年3回）

保護者を対象に、図書室における園児貸出の様子や、図書館資料の案内、お知らせやお願いなどを中心とした内容で発行している。

2. 図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
幼稚園図書	98	110,696
図書館	102	109,080
同和教育	0	0
合計	200	219,776

一人当たり購入数／ 0.83冊 金額／ 908円

3. 蔵書冊数

5,206 冊 (2011 年 3 月 31 日現在)

4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記 000	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
哲学 100	14 13,068	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	14 13,068
歴史 200	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
社会科学 300	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
自然科学 400	13 15,901	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	13 15,901
技術 500	1 330	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 330
産業 600	4 3,732	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 3,732
芸術 700	12 10,869	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	12 10,869
言語 800	1 1,796	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1,796
文学 900	11 12,914	0 0	157 172,905	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	168 185,819
合計	56 58,610	0 0	157 172,905	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	213 231,515

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料数は、213 冊 231,515 円で一冊平均 1,087 円である。

受入資料数の約 79%が絵本やよみものである。満3歳児（ひよこぐみ）の人数も増え、図書貸し出しにも対応しているため、2～3歳児向けの絵本も購入した。2010年度も夏に一度、図書係の先生と図書の取次店に行って直接選書を行った。

また、消耗図書としては各クラスに絵本を中心に購入し、図書室には利用が多く、修理不可能となったしかけ絵本を買い替えた。

5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
対象人数（人）	324	352	313	278	242
貸出冊数（冊）	8,839	12,387	10,810	10,934	10,275
1人当たり貸出冊数（冊）	27.28	35.19	34.54	39.33	42.46

*対象人数は4月1日現在の園児数である。

分野別貸出数（ラベルの色）

児童文学(赤)	宗 教(黄)	学習百科(緑)
8,561	61	1,653

クラス別貸出冊数

園児数	22	26	23	23	25	25	24	25	24	25	242
クラス	ばら	ゆり	のばら	ひまわり	ふじ	ちゅうり つぶ	たんぼぼ	さくら	すみれ	きく	合計
赤	863	794	811	683	910	752	919	928	906	995	8,561
黄	5	3	5	9	13	3	4	2	11	6	61
緑	100	134	186	236	167	261	181	150	145	93	1,653
冊数	968	931	1,002	928	1,090	1,016	1,104	1,080	1,062	1,094	10,275
人数	393	392	422	344	416	379	417	421	430	425	4,039

*園児数は4月1日現在の数である。

2010年度は2009年度よりも、開室日（貸出日）数が2日多く貸出を行った。にもかかわらず、2009年度よりも貸出総数が減っているのは、園児数の減少によるものもある。貸出利用者の総のべ人数は4,039人であり、1回の開室につき平均約224名の利用となる。園児数に含まれていない年度途中からの満3歳児（ひよこぐみ）が入園し、その都度図書貸出にも対応した。

また、2010年度も夏休み期間中と冬休み期間中にも貸出を行い、蔵書点検を6月の貸出前に行った。

6. まとめ

図書貸出について、多くの園児たちが思い思いの絵本を借りていく姿が定着している。

設備面では、図書役員の方による季節に応じた特集コーナーの設置が園児たちの目を引いていた。

蔵書管理面において、2010年度も夏休み貸出に対応するべく、6月の年度貸出開始以前に蔵書点検を行った。

幼稚園保護者における学院図書館の利用は、他校と比較して利用率が高い。2010年度は幼稚園保護者（マリアぐみ含む）が58名、親子教室保護者が35名の新規利用登録がなされている。保育終了後に親子で利用する姿もよく見受けられ、今後も「としょかんつうしん」などの広報で利用案内を続けていきたい。

また、親子教室第3期5クラスにおいて、「ぐりとぐら」の読み聞かせを行った。合わせてそれに関連した本の紹介や、2～3歳児向け絵本の紹介も行った。

Ⅸ. 図書館利用アンケート結果

図書館サービスが利用者にとどのように評価されているか、図書館に対する要望は何かを知るために、中学生・高校生・短大生を対象に2004年度より毎年行っている調査である。

調査項目は、読書量や図書館の利用目的、予約や購入希望の認知度、図書館への要望など多岐にわたる。2010年度より本館を利用する初等教育学科の学生と鶴見学舎メディアコーナーを利用する看護学科の学生と調査項目が若干異なるため別掲載とする。

本館利用（初教学生・高校生・中学生対象）

1. 調査対象

	生徒数(人)	回答数(人)	回答率(%)
短大(初教)*	171	148	86.5
高校	537	514	95.7
中学	311	298	95.8

*訓練生28名・再入学7名含む

2. 1ヶ月の読書量（漫画・雑誌を除く）

	a. 0冊	b. 5冊まで	c. 10冊まで	d. 20冊まで	e. 21冊以上	無記入
初教	45.3	48.0	4.1	0.7	0.7	1.4
高校	45.3	46.3	5.4	1.0	0.6	1.4
中学	35.6	45.6	12.1	4.0	1.7	1.0

(単位：%)

短大初等教育学科（以下「初教」）の学生と高校生には変化が見られない。中学生は「0冊」と回答した生徒が41%から35.6%に減少、「10冊まで」との回答が7%から12.1%に増加している。

3. 大阪信愛女学院図書館利用率

	a. よく利用	b. ときどき利用	c. めったに利用しない	d. 全然利用しない	無記入
初教	8.8	68.2	20.3	2.0	0.7
高校	11.7	44.7	26.1	16.5	1.0
中学	23.2	43.6	17.4	14.8	1.0

(単位：%)

2010年度のアンケートでは回答選択肢を6項目から4項目に変更した。各校とも「めったに利用しない」という回答が半減したが、「全然利用しない」には変化がなかった。

細かく校種・学年別でみると、中学1年生だけは「めったに利用しない」や「全然利用しない」の回答が少なく、よく図書館を利用している。

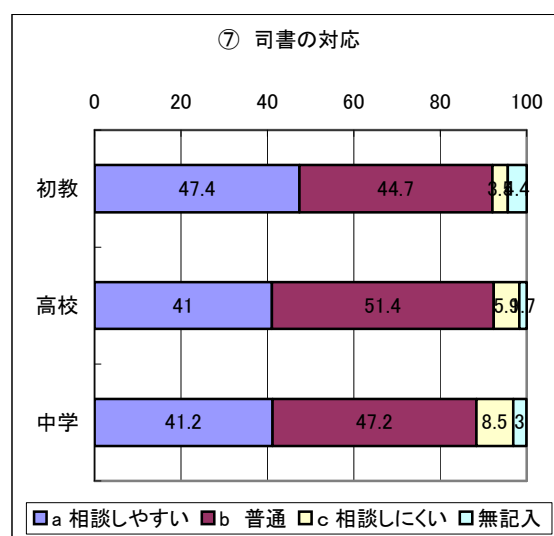
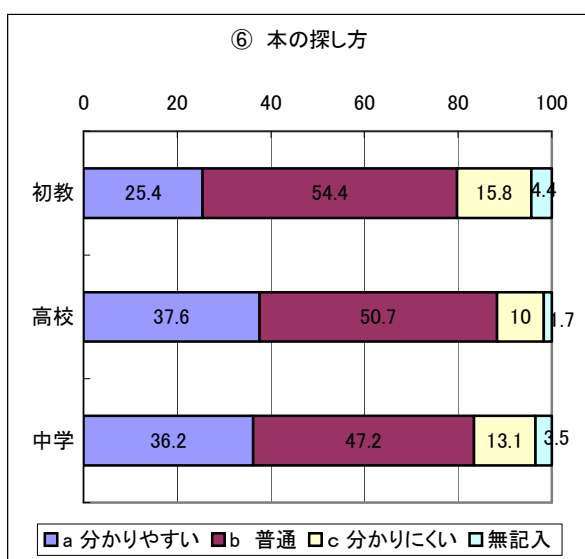
1) 大阪信愛女学院図書館の利用目的(「よく」「ときどき」利用すると回答した学生・生徒対象)

	初教	高校	中学
図書館の本を利用するため	69.3	73.4	78.4
CDを利用するため	18.4	30.3	26.1
ビデオ・DVDを観るため	12.3	20.7	27.1
新聞・雑誌を利用するため	7.0	24.5	28.1
課題・勉強や調べ物をするため	68.4	44.8	36.2
友達との待ち合わせ	0.0	6.6	13.1
インターネットを利用するため	0.0	7.9	33.2
その他	1.8	1.4	2.5
無記入	0.9	1.4	2.0

(単位：%)

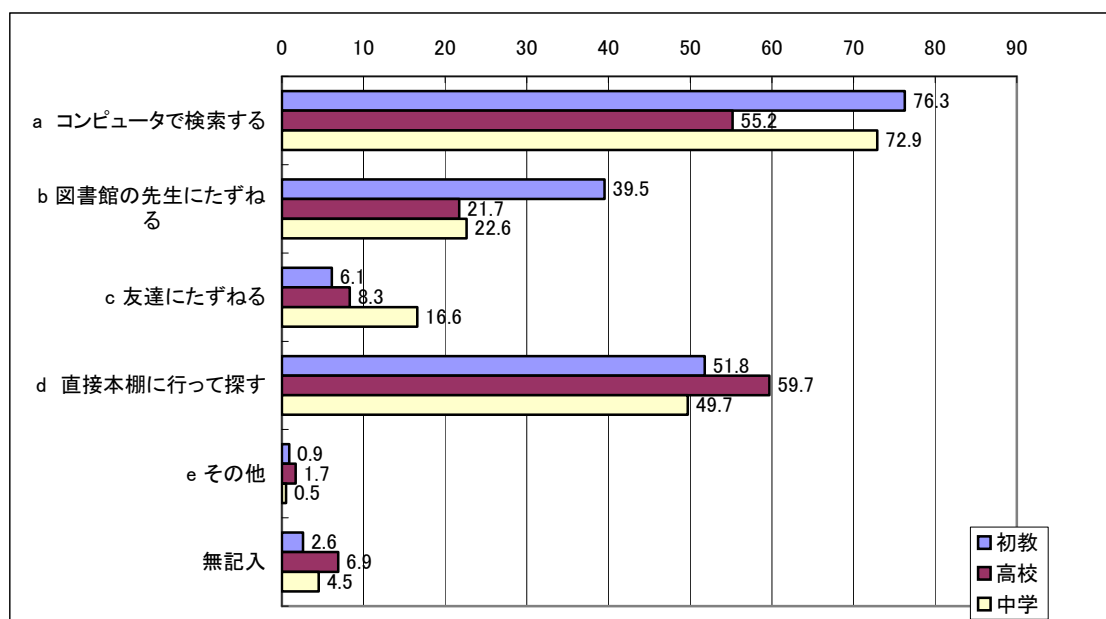
初教の学生の利用目的のほとんどは「図書館の本を利用するため」「課題・勉強や調べ物をするため」で実習の準備や課題提出があるからであろう。利用される資料も実習関係のものが多い。高校生では「図書館の本を利用する」「課題・勉強や調べ物をするため」「CDを利用するため」と続く。中学生は「インターネットを利用するため」も多く、昼休み・放課後と毎日のように利用している中学生がいてインターネットの利用はほとんどを中学生が占める。

2) 利用で感じていること(「よく」「ときどき」利用すると回答した学生・生徒対象)



読みたい本や視聴覚資料の量、本の探し方の分かりやすさや司書の対応など利用で感じていることをたずねた。利用の様子、予約や購入希望制度などを通じて、必要な資料が届くようにしていきたい。また本の探し方が分かりにくいとの回答を減らすよう工夫したい。

3) 図書館で読みたい本を探るとき(「よく」「ときどき」利用すると回答した学生・生徒対象)



初教と中学生で「コンピュータで検索する」と「図書館の先生にたずねる」の回答が昨年度より10%増加し、7割を占めている。「直接本棚に行って探す」も多い。

4) 大阪信愛女学院図書館を利用しない理由(「めったに利用しない」「全然利用しない」と解答した学生・生徒対象)

図書館を利用しない理由を選択回答してもらった結果は下記のとおりである。

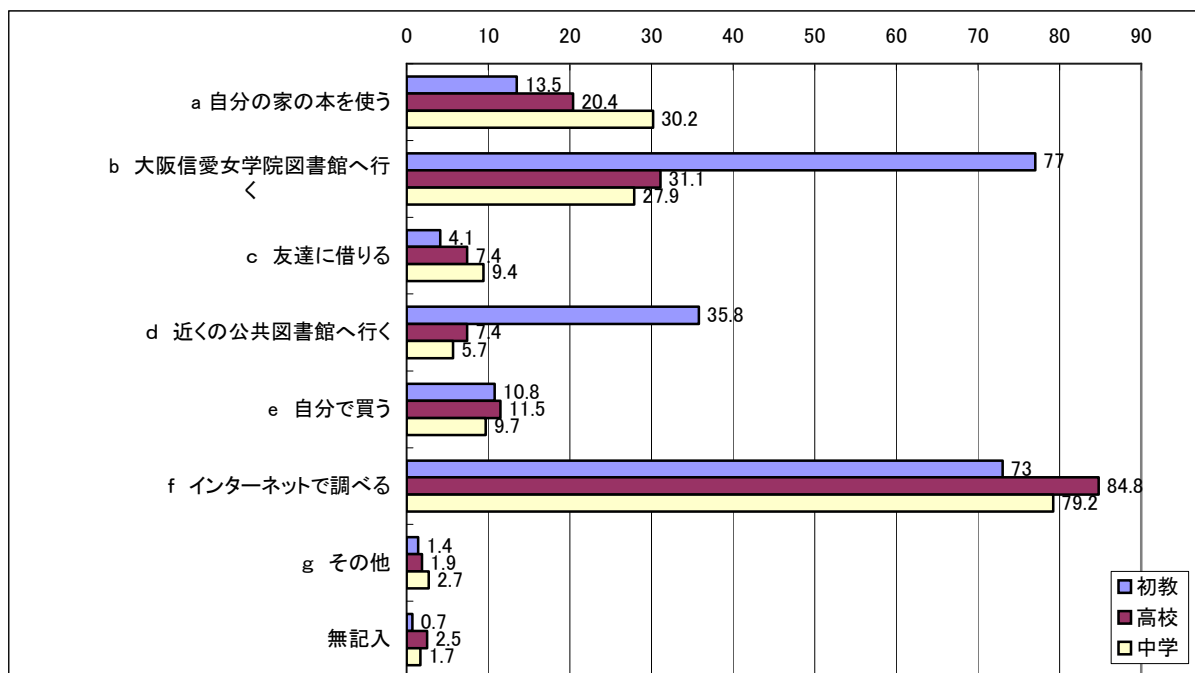
中高生は相変わらず「なんとなく」が多く、中高生はクラブや稽古事、塾などで図書館へ行く時間がないことをあげている。

「普段は図書館へ行かないが、定期試験時には利用することもある」の回答は、初教の学生に多いが、中高生は昨年度よりも減っている。

	初教	高校	中学
読みたい本がない	9.1	16.9	25.0
読みたい雑誌がない	0.0	2.3	5.2
聴きたいCDがない	0.0	5.9	14.6
観たいビデオやDVDがない	0.0	2.3	7.3
本の探し方がわからない	15.2	0.5	1.0
図書館の先生の対応が悪い	0.0	0.0	2.1
図書館の雰囲気が嫌	3.0	2.7	7.3
貸出や返却などの手続きが面倒	15.2	16.4	16.7
本が嫌い	15.2	9.6	13.5
なんとなく	21.2	41.6	37.5
公共図書館を利用する	6.1	1.8	1.0
クラブや稽古事、塾などで図書館へ行く時間がない	-	26.5	36.5
普段は図書館へ行かないが、定期試験時には利用することもある	39.4	8.7	10.4
その他	15.2	6.8	5.2
無記入	0.0	1.4	1.0

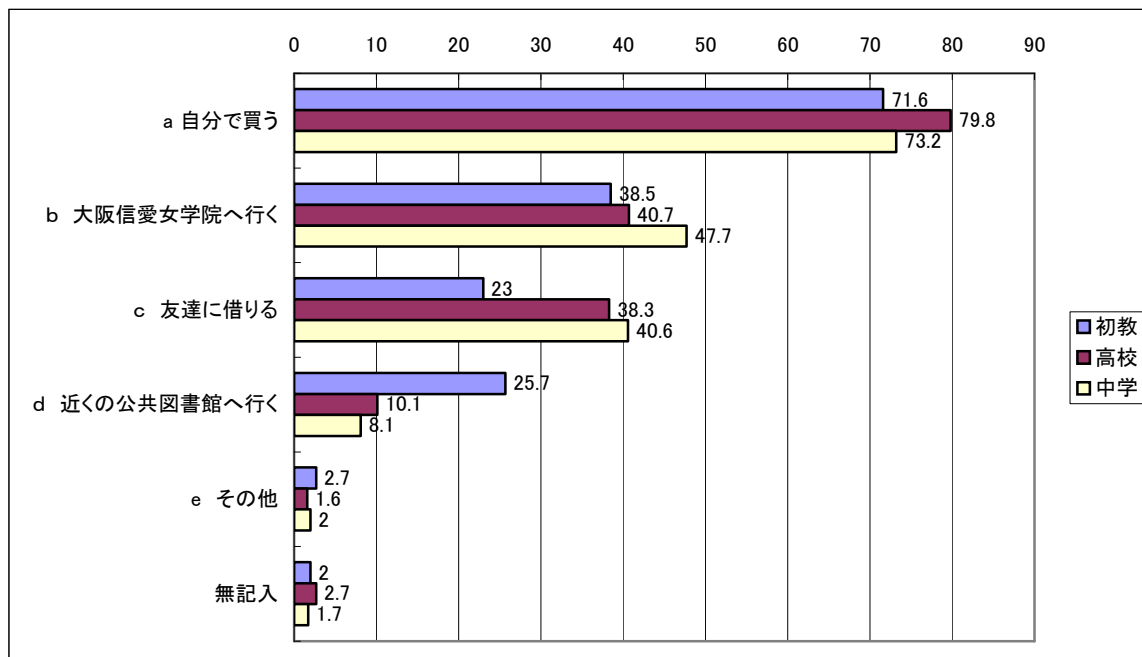
(単位：%)

4. 調べ物をしなければならないときの資料の入手方法利用で感じていること



調べ物をする場合は圧倒的に「インターネットで調べる」という回答結果で、毎年変わらない傾向にある。ただ選択肢が他にもあり複数回答可にも関わらず「インターネットで調べる」のみの回答が多かったのが気になるところである。短大生の大阪信愛女学院図書館、公共図書館の利用傾向も変化ない。

5. 読みたい本があったときの資料の入手方法



各回答とも傾向に変化はない。

6. 「予約」「購入希望」制度の認知

予約		a. 知っている	b. 知らない	無記入
	初教	71.6	26.4	2.0
	高校	92.0	7.2	0.8
	中学	96.6	2.3	1.0
購入希望		a. 知っている	b. 知らない	無記入
	初教	60.1	33.1	6.8
	高校	89.5	9.1	1.4
	中学	93.0	5.4	1.7

(単位：%)

「予約」「購入希望」とも中高生ではほぼ認知されている。初教の学生の「予約」については認知していると言えるが、「購入希望」はまだ認知度が低い。利用の有無を尋ねたところ「それほど必要としていない」が最も多く、中には制度としては知っているが具体的な利用の仕方がよくわからない、といった説明不足の指摘もあった。

7. 広報

広報に関して中高生対象に全員配布している図書館だより「らい★ぶらり」、図書館前掲示板、学生対象に短大校舎掲示板をそれぞれの程度見ているかを尋ねた。(表の単位：すべて%)

1) 図書館だより「らい★ぶらり」

	a. すみずみ読む	b. 一通り目を通す	c. ほとんど読まない	無記入
高校	9.1	73.5	16.7	0.6
中学	21.1	57.0	20.8	1.0

図書館からのお知らせや新着案内、利用の様子など気になったことを掲載しているが、高校生の「ほとんど読まない」割合が半減した。

2) 図書館前掲示板

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	3.4	45.3	50.0	1.4
高校	4.9	62.3	30.7	2.1
中学	12.1	63.4	22.8	1.7

図書館前の掲示板は新着資料の案内や各種お知らせ、ポスターなどを掲示している。

3) 短大校舎掲示板（短大生対象）

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	10.1	50.0	37.2	2.7

主に督促や予約の掲示をしているが、あまり確認されていないようである。

4) ホームページ

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	0.7	37.2	59.5	2.7
高校	1.6	34.6	62.1	1.8
中学	3.7	43.3	52.0	1.0

8. 雑誌

	短大 (初教)	高校	中学
1	Non-no	Zipper, Non-no	seventeen
2	ViVi	Myojo	popteen
3	Jelly, Myojo, Mini	ViVi, jelly	Egg, ポポロ
4	Wink up, Soup, Duet, ポポロ	popteen	ランズキ
5	小悪魔アゲハ, S cawaii, Can Cam, spring, SEDA, そーなんだ, BLEND A POTATO, ミーナ, Ray, Rock' n on Japan	Egg, seventeen	アニメージュ, KERA, ニコラ, non-no, POTATO, Myojo

短大生の回答が非常に少なく、複数回答があったものだけをあげた。

9. 好きな作家

	短大 (初教)	高校	中学
1	東野圭吾	東野圭吾	東野圭吾
2	伊坂幸太郎	山田悠介	山田悠介
3	村上春樹	乙一	あさのあつこ, 西尾維新
4	赤川次郎, 有川浩, あさのあつこ	あさのあつこ, 伊坂幸太郎	はやみねかおる
5	浅田次郎, さくらももこ 瀬尾まいこ, 山田悠介	湊かなえ, 村上春樹 よしもとばなな	湊かなえ, J.K.ローリング

短大生の回答が非常に少なく、複数回答があったものだけをあげた。

10. 面白かった作品

	短大 (初教)	高校	中学
1	告白, 重力ピエロ	告白	告白
2	The Manzai, 赤い指, ノルウェーの森, 阪急電車	ハリー・ポッター	トワイライト
3	-	デュラララ!!	デュラララ!!
4	-	カラフル	神様のカルテ, 刀語 バカとテストと召喚獣
5	-	心霊探偵八雲, 秘密, 神様のカルテ, 断章のグリム	ハリー・ポッター, 恋空, フリーター家を買う, バッテリー, S 彼氏上々, あいつらだけのお姫様, 彩雲国物語

短大生の回答が非常に少なく、複数回答があったものだけをあげた。

11. 図書館への意見や要望

自由記述のため記入はあまり多くないが、CDやDVD・雑誌に対する意見が例年と同じく多く、「ジャンルを増やして」「リクエストできる条件が厳しい」などだった。その一方で「アニメが多すぎる」や「雑誌やCDは娯楽のものだし自分で買ったらいいと思う。もっとためになるも

のを購入してほしいし、制限をしてほしい」という意見もあった。また「開館時間を延長してほしい」という意見も中学生から多く出されていた。

「今の図書館で十分満足」「利用しやすい」といった評価もあった。

12. まとめ

アンケート調査結果は毎年大差なく、予想通りの結果と言える。今年は本館を利用する初等教育学科と鶴見学舎メディアコーナーを利用する看護科で若干調査項目の異なるアンケートを実施した。全学生・生徒の動向、意見や要望を取り入れる唯一の機会でもあり、この結果を踏まえ図書館活動を見直す材料にしたい。

毎年のように要望として寄せられる視聴覚資料については、今後の課題として検討していきたい。せっかく図書館に来て目当てのものが見つからなければ、すぐに諦めてしまう学生・生徒が多いように思う。そのような学生・生徒が一人でも減るように図書館内の案内や資料探しの手伝い、広報など細やかな対応をしていきたい。

Ⅸ. 図書館利用アンケート結果(看護学科)

2010年度初めて看護学科の利用実態に合わせたアンケートを実施した。

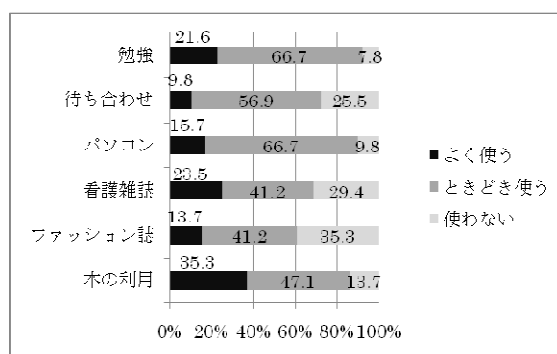
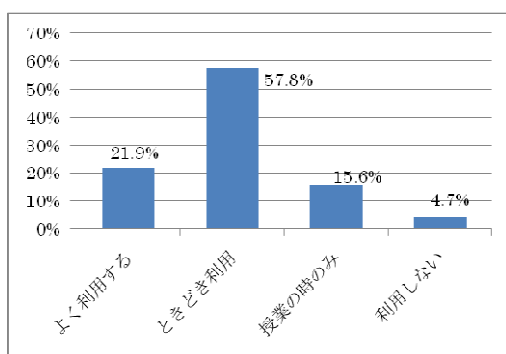
2回生の回答に関しては、人数が少ないため1名のみの回答の部分もある。

1. 調査対象

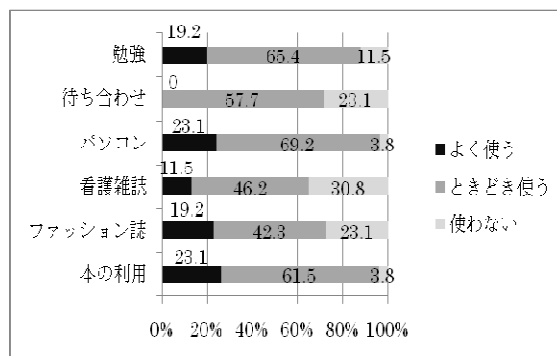
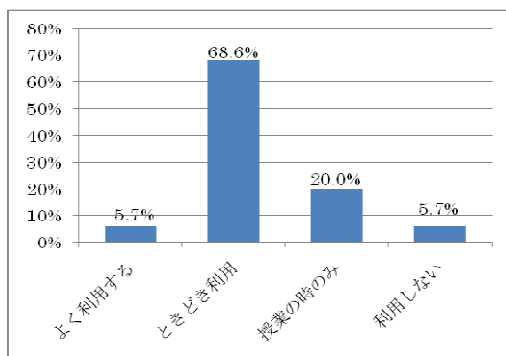
	生徒数(人)	回答数(人)	回答率(%)
看護学科1回生	84	64	79.5
看護学科2回生	44	35	76.2

2. メディアコーナーの利用

1回生



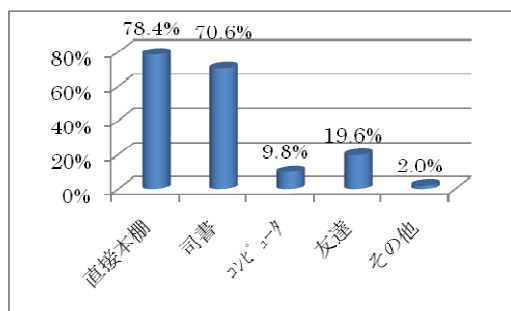
2回生



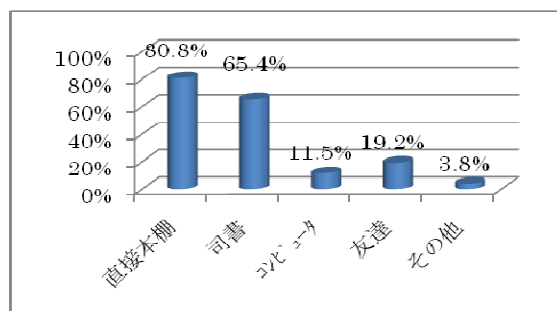
メディアコーナーの利用に関しては1・2回生ともに80%程度が利用している。利用形態はパソコンの利用、本の利用・勉強などが多くなっている。

2. 2 必要な本をどう探すか

1回生



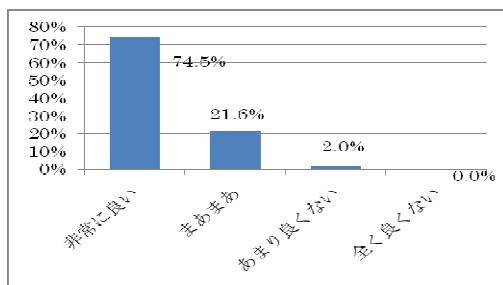
2回生



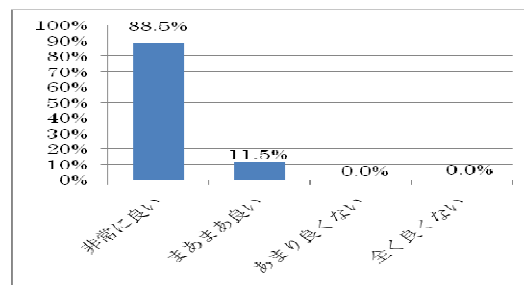
必要な本があるときには、「直接本棚で探す」が最も多く、「コンピュータで探す」が非常に少なくなっている。コンピュータで探すまでもない小規模な図書館ならではの回答となった。また、「司書にたずねる」も多く、課題など調べ物が多いことがうかがえる。

2. 3 メディアコーナーの司書の対応

1 回生



2 回生

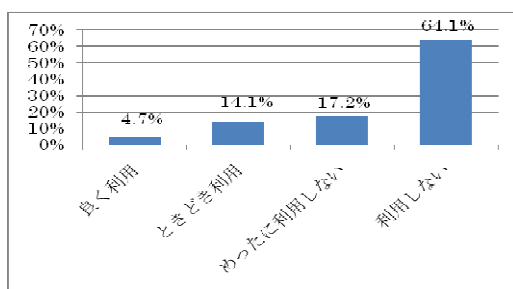


2. 4 メディアコーナーを利用しない理由

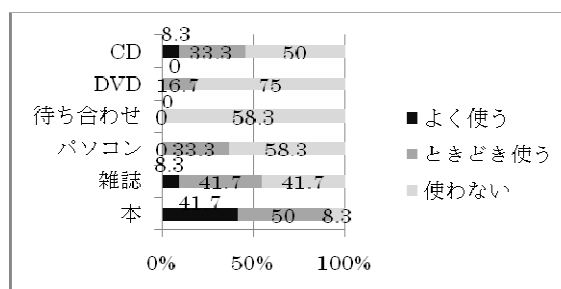
	1 回生	2 回生
必要な本がない	0.0	0.0
読みたい雑誌がない	0.0	33.3
利用の必要がない	7.7	22.2
他の図書館を利用する	0.0	0.0
手続きが面倒	7.7	55.6
なんとなく	53.8	44.4
試験前後は利用する	30.8	22.2
時間がない	38.5	22.2

3. 城東キャンパス図書館の利用

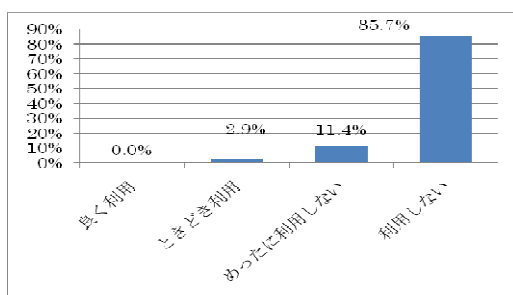
1 回生



どう利用しているか



2 回生

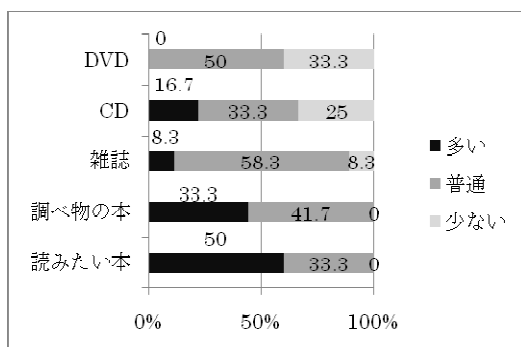


2 回生は 1 名のみの回答であったので省略する。

城東キャンパス図書館は、ほとんど利用されていないのが現状である。

3. 2 本館利用で感じていること

1 回生



2 回生

2回生は1名のみであったので省略する。

3. 3 行かない理由

	1 回生	2 回生
メディアコーナーで十分	13.5	29.4
鶴見学舎から遠い	84.6	70.6
行く必要がない	3.8	14.7
読みたい本がない	0.0	0.0
読みたい雑誌がない	1.9	2.9
聴きたいCDがない	0.0	0.0
見たいDVDがない	0.0	0.0
図書館の雰囲気がいや	0.0	5.9
手続きが面倒	3.8	5.9
なんとなく	9.6	8.8
試験前後には利用する	1.9	0.0

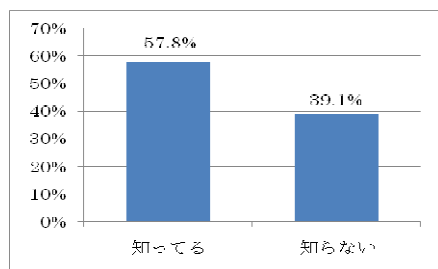
本館の利用は例年と同様、「鶴見学舎から遠い」が 84%以上となっており、鶴見学舎の看護系図書以外は利用していないのが現状である。

4. 調べ物をしなければならないとき

	1 回生	2 回生
自分の家の本を使う	21.9	28.6
メディアコーナーへ行く	76.6	77.1
本館へ行く	1.6	0.0
友達に借りる	3.1	0.0
公共図書館へ行く	10.9	0.0
自分で買う	12.5	5.7
インターネットで調べる	73.4	80.0

5. 1 「予約」制度の認知

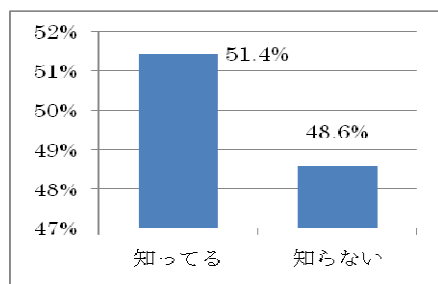
1 回生



利用しない理由

手続きが面倒	16.2
必要がない	67.6
借りるまでに時間がかかる	16.0
自分で買う	0.0

2 回生

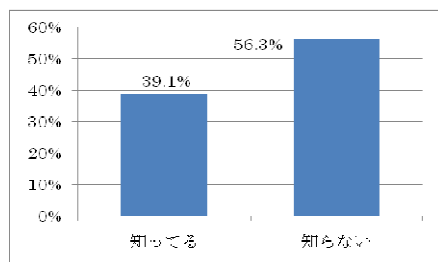


利用しない理由

手続きが面倒	33.3
必要がない	72.2
借りるまでに時間がかかる	13.6
自分で買う	7.7

5. 2 「購入希望」制度の認知

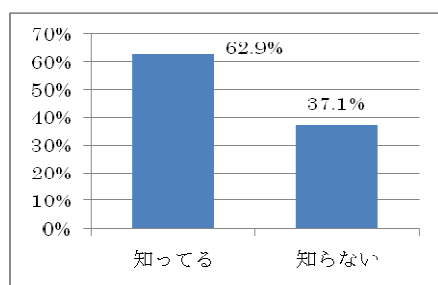
1 回生



利用しない理由

手続きが面倒	31.8
必要がない	59.1
借りるまでに時間がかかる	9.1
自分で買う	18.2

2 回生



利用しない理由

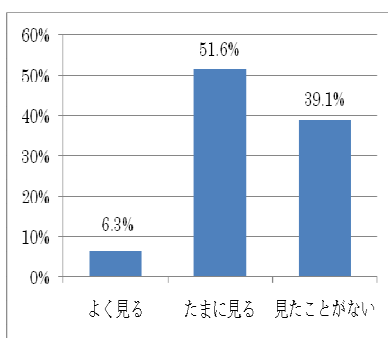
手続きが面倒	12.0
必要がない	64.0
借りるまでに時間がかかる	20.0
自分で買う	0.0

「予約」は半数以上の学生が認識しているにもかかわらずあまり利用されていないのが現状である。

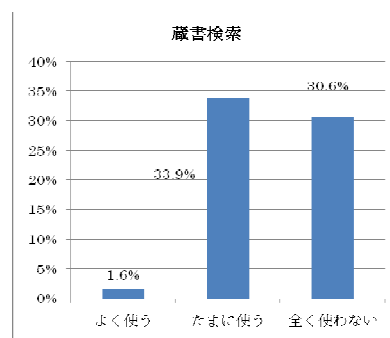
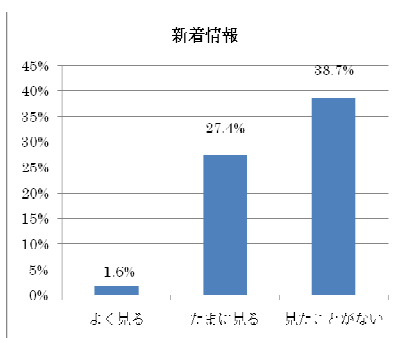
「購入希望」は1回生には半数以下しか認識されていない。2010年度に2回生数名が希望を出したのみで、今後、周知徹底していきたい。

6. ホームページ

1 回生



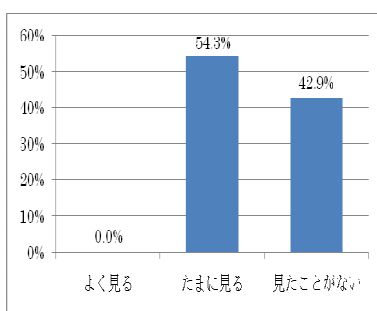
どこを見るか



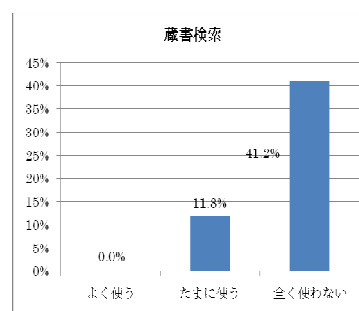
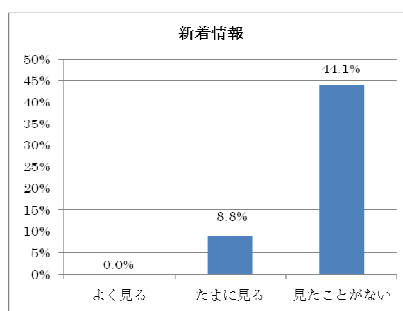
データベース

	よく使う	たまに使う	使ったことがない
医中誌	0	24.2	43.5
CiNii	0	25.8	41.9
その他DB	0	14.5	50.0

2 回生



どこを見るか



データベース

	よく使う	たまに使う	使ったことがない
医中誌	0	0	100
CiNii	0	0	100
その他DB	0	0	100

ホームページに関しては、1・2回生共に半数以上が見ているようである。

データベースでは1回生の方が利用率が高く2回生は全く利用していない。1回生に対してはデータベース講習を後期に実施したが、2回生には2009年度には実施しておらず2010年度の後期に実施したのみであった。また、1回生は授業の中でも紹介されているようで試しに検索している学生もいたようである。

7. よく読むまたは、メディアコーナーに入れてほしい雑誌

	1回生	2回生
1	プチナース	Vivi
2	Vivi	プチナース
3	Nonno	Sweet
4	Ray	Blenda
5	Sweet	Nuts
6	Cancam	
7	JJ	

8. 意見・要望

- ・座席とパソコンを増やしてほしい。
- ・飲食OKにしてほしい。
- ・場所が狭いので使えないときがある。
- ・本の数が少ない。
- ・こんなにも本の種類が整っている図書館も珍しいと思うのでもっと利用したいと思う。
- ・毎回利用している方もいると思うが、騒がしかったりすることが多く行けない。静かなのが図書館と思っているので配慮していただけたら嬉しい。
- ・メディアにもっと雑誌を増やしてほしい。
- ・とても利用しやすいです。
- ・今のままで十分
- ・マンガも置いてほしい

9. まとめ

今回初めて鶴見学舎のみでアンケート調査を行ったが、2回生の学生数が少ないためサンプルとしては不十分なものとなっている。

看護学科の学生は、レポート・課題等が非常に多く、資料を必要とすることが多い。メディアコーナーは狭い場所ながら最大限に資料を有効活用できるようにしていきたい。

また、看護学科学生は、城東学舎に行く機会はあるながら図書館本館にはなかなか足を運ばない傾向がある。せつかくの蔵書を看護学科学生も活用できるように勧めていきたい。